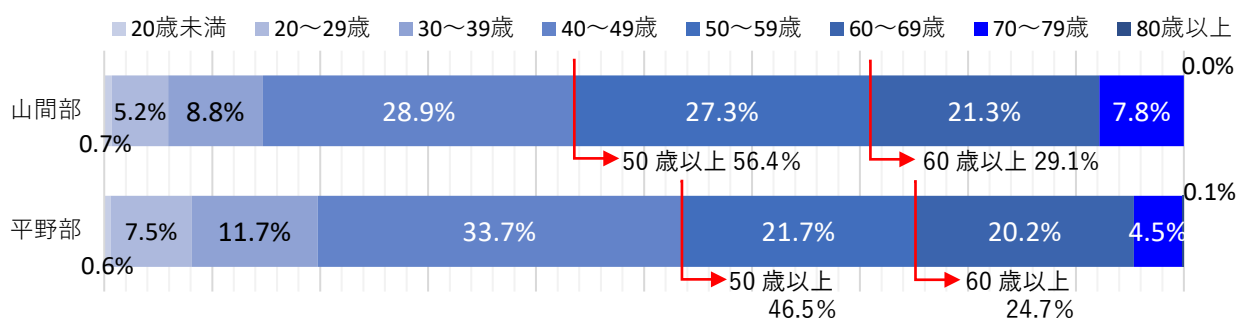


除雪作業に関するアンケート調査まとめ

除雪作業については、人員不足と高齢化、また極端な豪雪や小雪への対応など多くの課題があります。このため、今後の除雪作業について考えるため、現状と課題を調査しました。その結果のまとめは以下のとおりです。

■除雪作業に携わる社員等の年齢構成

➤オペレーターの山間部(55社)と平野部(171社)の比較では、山間部の企業は50歳以上が56.4%、平野部も46.5%となっている。山間部は60歳以上も3割近くになっている。



➤作業員もほぼ同様の年齢構成であった。

➤常時雇用と季節雇用の割合については、

・オペレーター：山間部は季節雇用が21.2%、平野部3.3%

・作業員：山間部は季節雇用が12.2%、平野部3.3%

いずれも山間部の積雪量の多さと出勤回数の多さが影響していると考えられる。

■除雪作業で経験した事故(複数回答)

① 歩行者・自転車との接触	2社
② 一般車両との接触	31社
③ ガードレールやマンホールなどの道路上の施設との接触	113社
④ 側溝や用排水路などへの転落	16社
⑤ その他	62社

➤ガードレールやマンホールなどとの接触が最も多く、113社あった。

➤一般車両との接触事故も31社があったと回答した。

除雪作業に携わるオペレーターや作業員の高齢化が進んでいます。また見通しが悪く一般車も通行している道路の作業のため、接触事故等が多くなっています。十分な安全管理が行える通常の工事現場とは異なることから、事故が起こった場合の取り扱いや緩和措置を検討しておかないと、ますます除雪作業を敬遠する業者が増えてしまうと思われます。

各企業が今後も除雪作業を継続していく意欲を持てる制度設計、そして安定した経営基盤の確保が必要と考えています。